

標章

登録番号

総数 2頁の1頁  
証明書番号 ○○○

## 校正証明書

依頼者名 ○○○○○  
依頼者住所 ○○○○○○○○○○○  
品名 比重浮ひょう  
器物番号 ○○○○  
製造者名 株式会社 安藤計器製工所  
目盛範囲 ○○○○  
目量 ○○○○  
校正項目 比重  
校正方法 衡量法

当社計量校正研究所「浮ひょう校正実施手順書」による

校正年月日 ○○○○年○○月○○日  
校正実施場所 当社浮ひょう校正室

校正結果は、別紙のとおりであることを証明します。

○○○○年○○月○○日

東京都板橋区仲町31-1  
株式会社 安藤計器製工所  
計量校正研究所  
所長 ○○○○

この証明書は計量法第144条第1項に基づくものであり、特定標準器（国家標準）にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。書面による承認なしにこの証明書の一部分のみを複製して使用することを禁じます。

この証明書はILAC(国際試験所認定協力機構)及びAPAC(アジア太平洋認定協力機構)のMRA(相互承認)に加盟しているIAJapanに認定された校正機関によって発行されています。この校正結果はILAC/APACのMRAを通じて、国際的に受け入れ可能です。



1. 校正結果

浮ひょうが表す目盛	校正値	拡張不確かさ	補正に使用した被測定液体の表面張力値 (mN/m)
○○○	○○○	○○○	○○○
○○○	○○○	○○○	○○○
○○○	○○○	○○○	○○○

- 拡張不確かさは、信頼の水準約95 %に相当し、包含係数  $k$  は2である。
- 被測定液体の表面張力は、JIS B 7525-3(2018)表B.3－表面張力の標準値の値を用いて算出した値である。
- 校正値とは、補正後の値である。

2. 校正条件

- 1) 上記の値は、標準温度15℃における値である。
- 2) ガラスの熱膨張係数は、0.000025 /℃とした。
- 3) 目盛の読取りは上縁視定で行った。
- 4) 校正時の環境条件は、次のとおりである。
  - 温度： 21℃ ± 1℃
  - 湿度： 44% ± 3%
  - 気圧： 1022 hPa ± 1 hPa
- 5) 比重への変換は、JIS Z 8804による。
- 6) 基準とした水の温度は4℃である。
- 7) 校正時に用いた校正用液体の種類は、トリデカンである。
- 8) 校正時の校正用液の条件は、次のとおりである。
  - 温度： 20℃ ± 0.1℃
  - 密度： 0.756 g/cm<sup>3</sup> ± 0.001 g/cm<sup>3</sup>
  - 表面張力： 25 mN/m ± 2.5 mN/m
- 9) 使用した標準器は、シリコン単結晶リング(No.1)である。

以上